

一一九四番

紀伊の国の 雑賀の浦に 出で見れば 海人の燈火
波の間ゆ見ゆ

一一九五番

麻衣 着ればなつかし 紀伊の国の 妹背の山に
麻蒔く我妹

一一九六番

つともがと 乞はば取らせむ 貝拾ふ 我を濡ら
すな 沖つ白波

一一九七番

手に取るが からに忘ると 海人の言ひし 恋忘
れ貝 言にしありけり